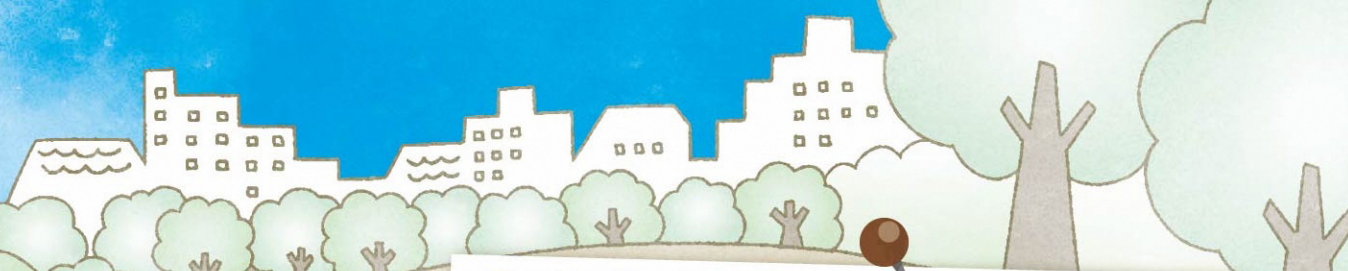




# 一緒に同和問題 (部落差別)について 考えてみましょう!



## 今は差別なんてないでしょ?

残念ながら、現在でも各地で様々な差別事件が発生しており、苦しんでいる人たちがいます。また、特定の地区のことではなくても、同和地区のことを馬鹿にしたり、挑発するような落書きやインターネット掲示板への書き込みなどがあり、人々の「被差別部落」に対する偏見や差別意識には根強いものがあります。同和問題は、昔の話ではなく、現在も続いている重大な社会問題だといえます。

## 同和問題ってなに?

「同和地区」などと呼ばれる特定の地域出身であることや、そこに住んでいることを理由に経済的、社会的、文化的に低位の状態を強いられ、生活の上で様々な差別を受ける日本固有の重大な人権問題のことで、今でもなお存在しています。

## 私は差別などしないので関係ないと思うけど?

ほかの人による差別的な言動を見過ごしてしまうおそれがあります。その場合、結果として差別に加担したことになることを考える必要があります。差別は突然現れ、人の心をひどく傷つけます。差別に加担しないためにも正しい知識を身につけ、社会全体で差別を許さない社会を作りましょう。

## どんな差別があるの?

結婚差別とは、例えば恋人同士だったカップルが、相手が同和地区の出身と分かった途端に本人や親類の態度が急に変わり、引き裂かれるというものです。就職差別は、企業が採用応募者の出身地や居住地を調べ、同和地区出身者の内定を取り消すなどの差別行為です。現実にも今でもインターネットでは、一定の地域やそこに住む人を誹謗・中傷する極めて陰湿で悪質な差別書き込みがおこっています。

人権・同和教育は、このような日常生活の中の偏見や科学的根拠に基づいていない事柄に対して、自分自身で間違いを指摘し、正しく対応する力を身につける大切な学びです。

## ほうっておくのが一番なんじゃない?

「時間がたてば差別はなくなる」と言われてきましたが、100年経っても差別は消えていません。何が差別なのか、正しい知識がないと、人から誤った知識を植え付けられ更なる差別を生み出す可能性があるからです。合理的な理由もなく人を差別すること自体が間違っているのであり、差別をなくすためにみんなが努力をする必要があります。

## 「えせ同和行為」って?

「えせ」とは、「似非」と書きます。「似てはいるが本物ではない」という意味です。同和問題の解決に努力しているように装い、不当な寄付を募ったり、高額な図書の購入を迫ったり、義務のないことを要求したりする悪質な行為です。「えせ同和行為」者は「同和」と聞いて「よくわからない」「面倒だ」と思う誤った心理を突いてきます。同和問題は決して怖い問題、面倒な問題ではありません。「えせ同和行為」は同和問題の解決を阻害する行為として、排除する必要があります。お困りの場合はご相談ください。

同和問題は今も身近な課題です

